

# 西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



6月定例会  
第144号

TOPICS

▶ 新しい議会役職が決まりました！



## CONTENTS

- 6月定例会の主な内容、審議日程など ..... 2
- 一般質問 ..... 3～8
- 委員会の活動状況 ..... 9～10
- 議案等審議結果一覧表 ..... 11
- 委員会委員名簿、9月定例会の開催予定  
表紙の写真を募集など ..... 12



# 6月定例会

## 主な内容

6月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP11をご覧ください。



### 主な審議日程

6月	
19(金)	本会議 議会役職の選挙・選任
22(月)	本会議 議会役職の選挙・選任、提案説明
26(金)	本会議 一般質問 (18人)
29(月)	本会議 一般質問 (18人)
30(火)	本会議 一般質問 (18人)
7月	
1(水)	常任委員会 (建設) 本会議 一般質問 (1人)、質疑、委員会付託
3(金)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育こども)
6(月)	常任委員会 (民生、建設)
9(木)	本会議 委員長報告、討論、採決

### 議会役職の選挙・選任

本会議において、議会役職の選挙・選任が行われ、第91代議長に澁谷祐介議員、第90代副議長に山田ますと議員が選出されました。



議長 澁谷 祐介 (会派・ぜんしん)



副議長 山田 ますと (公明党議員団)

▼その他の議会役職はP12へ

### 補正予算(市長提出) 可決・全会一致

#### 補正予算の概要

##### ▽教育用タブレットの整備

公立学校に通う児童・生徒を対象に1人1台の教育用タブレットが順次整備されます。

##### ▽PCR検査センターの開設

西宮市医師会と連携・協力し、1日最大24件の検体採取ができるPCR検査センターと派遣先での検体採取ができる移動型検査所が開設されます。

##### ▽児童福祉施設等の感染拡大防止への支援

マスク等の衛生用品や感染防止のための備品購入費、職員の感染症対策の徹底に必要な経費等に1施設当たり50万円までが補助されます。

##### ▽ひとり親世帯への支援

ひとり親家庭を支援するため、臨時特別給付金が支給されます(収入制限等の支給要件あり)。児童扶養手当受給者、公的年金等を受給または所得制限超過等により児童扶養手当を受給していないひとり親世帯が対象です。

### 決議

### 可決・全会一致

#### 夏季短縮授業期間における

##### 学校給食の改善を求める決議

夏季休業期間の小学校等で予定されていた簡易給食は、エネルギーも栄養も学校給食の基準を大きく下回っており、食育の観点からも好ましくありません。現環境下での工夫により栄養バランスが取れた給食を提供する改善の確実な実施と、市当局一丸となって本件の推進に当たるよう求めるものです。

### 請願

### 採択・全会一致

#### 新型コロナウイルス感染から妊婦と胎児を守る為の施策の充実と強化に関する請願

国は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、出産に不安を抱える妊産婦の方々への配慮について通知し、各自自治体では「胎児と妊婦の特別給付金支給」が次々に決まっています。安心して赤ちゃんを産み育てられるよう、胎児に対する特別定額給付金に代わる新支援金制度等の検討と、新型コロナウイルス禍における妊婦の不安解消の相談窓口の強化を求めるものです。

### 4月・5月に臨時会を開催

#### 議員報酬等を15%削減

市議会では、4月・5月に臨時会を開催し、一般会計補正予算(新型コロナウイルス対策等)などを全会一致で可決しました。

5月の臨時会では、市議会議員報酬と期末手当を15%削減(令和2年6月1日〜令和3年3月31日まで)する「市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部改正」を提出し、全会一致で可決しました。削減総額約6440万円は、市の新型コロナウイルス感染症対策基金に充て、市民や事業者等への支援に役立てられます。

#### 管外視察予算を削減

市議会では、今年度の管外視察の実施を取りやめ、その削減額(585万円)についても、同感染症対策基金に充てていただくよう市に要望しました。

# 一般質問

19人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。



▶6月定例会の一般質問の様子。手前は議員席、奥は市当局席。

6月定例会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止（3密対策）のため、議案の採決を行うときなどを除き、本会議場に入る議員を半数程度に減らし、1席ずつ空けて座る形で本会議を行いました。また、本会議場に入らない議員は、各自、議員控室でインターネット中継を視聴しました。

また、市当局の出席についても、一般質問では各質問に対する答弁者のみとするなど、必要最小限としました。

## 福井 浄

維新の会

### 時差勤務制度の活用について

緊急事態宣言に伴う対応で行った時差出勤を活用し、異なる出勤時間を組み合わせれば、不要な残業を防ぐことにつながると考えるがどうか。

時差勤務制度は職員の多様かつ柔軟な働き方を実現する手段の一つであり、ワークライフバランスの推進や超過勤務時間の縮減にもつながると考える。

### 柔軟な人事配置を行う制度について

同様に業務が集中する部署には他部署からの応援がされた。平常時でも繁忙の差に注目し、多忙な部署に他部署から応援をするという柔軟な人事配置を行う制度を構築してはどうか。

非常時だけでなく通常時にも一定の効果があると考える。現在のグループ制を活用する中で、柔軟な職員配置について様々な視点から検討を進める。

### 夏季休業中の学校給食の対応について

市の給食の目的は給食法にある「適切な栄養の摂取によ

る健康の保持増進を図る」こと。夏季短縮授業期間、近隣市では、本市が理由にした課題を克服しおかずを提供した。本市もおかずのある給食等を行うべきでは。



(質問時間52分)

## 野口 あけみ

日本共産党

### 国の地方創生臨時交付金の活用について

自粛要請で深刻な経済的打撃を受けた自営業者や労働者等に対する国・県・市の支援は不可欠だ。市独自策として32事業13億円余りの事業が実施されたが、国の地方創生臨時交付金ほどのように活用されるのか。

国の第1次補正予算の地方創生臨時交付金は、これまでの市独自策等の事業を実施計画として国に提出した。第2次補正予算は詳細を確認中である。

## PCR検査体制の

### 拡充について

コロナ対策では検査を増やして早期に発見し、隔離と適切な医療を施すことが必要である。現在市では1日当たり最大51件の検体採取能力があるが、今後どう拡充していくのか。

市医師会と協力し、(仮称)地域外来・検査センターを新設する。また、帰国者・接触者外来を担う医療機関を増やせないか関係者と協議している。

### 統合新病院の病床数について

感染症対応の中核的役割を果たすため新病院の基本計画見直しを検討すると県議会で発言があった。施設の設計だけでなく病床数増も検討すべきでは。

病床数は医療需要の増加や稼働率等を勘案し基本計画で定めている。感染症対応の機能充実のため病床運用の在り方も含め、県と見直しを検討する。

(質問時間48分)

## 吉井 竜一

政新会

### リモート・オンライン授業

### について

コロナウイルス第2波、

その他災害の可能性を踏まえてオンライン授業を円滑に行えるようにすることは焦眉の急であると考ええる。「オンライン授業」新しい授業形態」ということで、ビデオ学習でも、生身の人間が集う授業でもない、新たな形態を創造していかねばならず、関係者の皆様にもかなり創意工夫が求められることになると思われる。オンライン授業の問題や課題を共有・蓄積したり、優良な事例を共有できるような仕組みが必要であると考えますが、現在の考えはどうか。

情報教育の研究グループで、既にタブレットの活用やプログラミング教育の研究を進め、研究授業や事例集を発行している。今後はオンライン授業の課題や事例等を研究し、学校CIO補佐担当者会や情報教育研修等で情報共有し全校に広げたい。

### 少年スポーツについて

学校改築などで活動が限定的になってしまいう地域・団体に対して、市の保有する運動施設を無償もしくはせめて利用料の軽減をして開放すべきだと考えるが、市としての考えは。



学校改修等やむを得ない場合は、スポーツクラブ21に対して、7月1日から市立運動施設の使用料を半額に減免し、活動支援を行う。

(質問時間62分)



一色 風子

BCCP

保護者や介護者の新型コロナウイルス感染症時の窓口は

子どもや高齢者、障害のある方など保護や介護が必要な方の家族が新型コロナウイルスに感染した場合の対応についてどこが窓口になっているのか。

子ども、保護者や高齢者、障害のある方からの相談は保健所へご相談いただき、事情をお聞きした上で適切な支援について関係課と協議し対応する。

夏季休業中の簡易給食について

夏季休業中の授業実施の際の簡易給食について、なぜ自校調理の米飯と具たくさんみそ汁などの対応にできなかったのか

調理室では夏季休業中に

工事や備品等の入れ替えがある。後に回すと安定した給食運営に支障を来すため、調理を伴う給食の提供は困難と判断した。

(質問時間45分)

田中 正剛

政新会

学校における感染症対策について

教員や児童生徒に感染が確認された場合の対応マニュアル等を、事前に保護者や地域の方々に伝えるべきではないか。

教育委員会と保健所で協議し、既に基本方針が定まっている。詳細がまとまれば、学校・保護者に周知し、教育連携協議会等を通じて地域にお伝えする。

臨時休業となった場合の学校給食について

各学校が再び長期の臨時休業となった場合、給食の献立を変更・工夫し、宅配やテイクアウトなど子どもに対する昼食の支援を学校ごとに実施できるように備えるべきではないか。

感染拡大のリスクや食品の衛生管理、アレルギー対応など課題が多く実施できないと判断した。今後同様の措置を取らざるを得ないと考えている。

介護サービス事業者等への支援について

介護人材離れの抑止と介護サービス事業者の継続のため、利用者の減少により一定の収入が減少した介護サービス事業者や介護従事者に対する支援をすべきではないか。

現在、介護サービス事業者等に影響調査のアンケートを実施している。収入への影響、行政に求める支援など分析結果とあわせて支援策を検討する。その他の質問 公共施設における器物破損の弁償について

(質問時間64分)



花岡 ゆたか

市民ク改革

市職員OBの再雇用について

シルバー人材センターに対して、年間約3千万円の補助金が出ており、この補助金から事務局長と常務理事の人員費が充てられている。現在の事務局長と常務理事は市の職員のOBであり、過去を見てそのほと

んどを市の職員OBが占めている。シルバー人材センターに市の職員OBが天下る事をやめるべきではないか。

外郭団体として行政の補完的役割を果たしており、市と連携を図る中で効率的な運営を行う必要から、団体の要請に基づき適切な人材を推薦している。

喫煙と新型コロナウイルスの感染・重篤化について

この度の、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいて、WHO(世界保健機関)は「喫煙者は新型コロナウイルス感染症にかかりやすい」、「喫煙者は重篤化する割合が非喫煙者の3倍以上である」等の見解を示している。新型コロナウイルス感染症にかからないように、また、かかってしまったとしても重篤化しないように、本市においては禁煙の推進により一層注力するべきではないか。

市ホームページに喫煙による重症化の可能性を掲載し、市民や施設管理者に喫煙室の3密回避等と呼び掛ける。さらに、禁煙治療費の助成も周知し禁煙支援・受動喫煙防止に取り組む。

(質問時間39分)

草加 智清

ぜんしん

豪雨を想定した武庫川の災害対策について

昨年県から、台風19号級の豪雨が降れば、現在進められている武庫川総合治水工事が完成しても氾濫する可能性が高いとのシミュレーション結果が公表された。これを踏まえ、県は今後、新たにどのような武庫川の災害対策に取り組むのか。

県はシミュレーション結果を踏まえて、現在の河川整備計画を令和12年度末完了から3年程度前倒しする予定と聞いている。また、堤防の決壊を防ぐため、住宅側の堤防下部を補強する追加工事が検討されている。



武庫川総合治水工事箇所



不登校児童生徒への  
オンライン授業について

問 この度、国のGIGAスクール構想に基づいて、校内ネットワークの環境整備工事、児童・生徒1人1台のパソコン配備が予定され、不登校児童生徒にも配分される。この機会を逃さず、オンライン授業ならでの可能性を求めて、不登校対策の1つとして積極的に活用すべきである。不登校児童生徒へのオンライン授業実施に向けて、積極的に取り組んでいくべきだと思うが、市教委の見解は。

答 昨今の社会情勢を受け、不登校の児童・生徒へのオンラインでの学習機会の提供が注目されている。様々な課題もあるが、その在り方、活用方法について不登校対策庁内検討委員会でも前向きに検討していく。

松山 かつのり 公明党

中央運動公園等の  
予算執行制限について

問 新型コロナウイルスの影響による、令和2年度の予算執行を制限する事業では、中央運動公園及び中央体育館・陸上競技場が対象

となっているが、市の考えは。

答 新型コロナウイルスの影響による新たな財政支出や市税減収等が予測され、財政収支見通しが大幅に変わる恐れがある。そこで、次年度以降に大きな財政負担が生じる事業は、投資的



西宮市立中央体育館

避難所の感染症  
3密対策について

問 避難所での感染リスクを避けるため、公民館・市民館は開設せず、近隣小学校の体育館

事業のほか新規・拡充施策も制限対象とした。今後、令和3年度の6月から7月にかけて市税や地方交付税等の状況が判明し、今後の財政収支が見通せるため、全ての事業について事業計画の見直しの判断も含めて検討し、議会等にも適宜説明していく。

を開設することに変更になったが、避難スペースの拡大や様々な感染症予防対策実施に伴う、避難所運営の負担にどのように対応するつもりか。

答 避難スペース拡大に加え、受付時の検温、発熱やせきのある方への対応等の様々な感染防止対策を行うには従来の体制では対応できない。全庁的な動員数を増やし、避難所1カ所当たりの職員を従来の2名から4名に増員し、対策を徹底していく。

松田 茂 公明党

各就労支援機関を連携する  
プラットフォームについて

問 すべての方が社会で活躍できるためには、それぞれの就労支援事業所に行けない方、就労意欲を失っている方への伴走型支援が必要である。また行政とそれぞれの就労支援事業間の連携が必要となる。プラットフォームとしての取り組みについて聞きたい。

答 社会参加に向けた支援が必要な方などの把握のため、福祉関係団体なども連携し、重層的な支援体制の構築等の取り

組みが重要である。今後は各就労支援機関の情報共有を進め、実効性を高めるよう検討する。

中央病院の感染症対策  
について

問 中央病院の感染症対応について聞きたい。

答 現在、陰圧室の設置や空気感染隔離ユニットを複数台備えるなど、感染症に対応できる設備を備えており、外来患者、入院患者に対しても安心で安全な医療を提供できると考える。



空気感染隔離ユニット

オンライン診療について

問 中央病院におけるオンライン診療の考えを聞きたい。

答 オンライン診療の一環として、国の基準において臨時的に「電話による再診」を実施している。ただし対面診療が原則であり、投薬数量の制限や服薬

管理に努める等の対応を取りつつ、当面継続していく。

八木 米太郎 ぜんしん

南部地域の林野火災  
対策について

問 南部地域の林野火災について十分な対策が取られているのかどうか聞きたい。

答 消防局では、林野火災が発生した際の活動要領を定め、計画的に訓練を実施して消火戦術を確認しているが、林野火災を想定した消防団との連携訓練は、ここ数年、南部地域では実施できていないことから、今後、時期を調整の上、実施する。また、ホームページ等でも情報発信し、地域住民の安心・安全につなげていく。



名塩道路整備について

問 名塩道路整備の進捗状況について聞きたい。





生瀬地区では、大多田橋交差点付近の国道拡幅と西宝橋下流の護岸工事が完了し、6月から西宝橋南詰と大多田橋交差点に右折レーンを設置、その後、西宝橋の仮橋に切り替える予定。城山トンネルの進捗率は約35%で令和3年3月頃完了予定。東久保地区の用地買収は面積割合で約72%の進捗率で、赤坂峠西交差点から東側約300mの区間に用地幅ぐいを設置する予定。

今年度の主な工事は名塩茶園町交差点からさくら台人口交差点付近での橋梁工事や名塩川付け替え工事を予定。

その他の質問 広域行政(連携)のあり方、その課題と展望について

(質問時間35分)

菅野 雅一 ぜんしん

クラスター対策の強化を

新型コロナウイルス感染症の対策として感染拡大の次の波に備えるため、クラスター対策を強化すべきだ。厳しい財政状況から職員定数削減の必要性が高まるが、対策を進める保健師は19人で、陣容の充実が重要。

ストレスの多い保健師への組織的な支援も大切。市の考えは。

保健師5人の新規採用の募集を行い、増員を図る。事務職も増員して保健師の業務負担を軽減した。4月に作成した保健師人材育成ガイドラインに沿って、保健師のストレスや悩みを組織全体で対応し、助け合う職場環境づくりを進める。

名神湾岸連絡線の日照阻害は環境の保全で解決を

国土交通省は名神湾岸連絡線について環境影響評価を行い、3月に準備書を公告した。日照阻害で参考指標を大幅に超える日陰が生じる地点があり、環境保全措置では解決できず、住民との金銭交渉の可能性も示唆している。国は国自ら定めた参考指標を守るべきであり、環境保全への努力を放棄すべきではない。市の考えは。

日照阻害については周辺の住環境を保全するために参考指標を満足する必要があると考える。今後決定する事業者に、事業実施段階において景觀に配慮しながら環境保全措置の確実な実施を要請する。

(質問時間70分)

ひぐち 光冬 日本共産党

20人程度の少人数授業の実施について

コロナ禍の長期休校が子どもたちの心身に及ぼした影響は計り知れない。子どもへの柔軟な教育のためにも、また感染症対策のためにも、学校の教職員を思い切つて増やし、20人程度の少人数授業ができるよう力を尽くすべきと考えるがどうか。

仮設教室の増加による教育環境の確保や、県基準を上回る教員配置による市独自採用の人件費や人材確保等の問題から直ちに対応することは難しい。

御前浜橋の開閉について

西宮浜と対岸を結ぶ御前浜橋(通称はね橋)で、船が通らないにも関わらず無駄な開閉が繰り返されている。調査をすると、開閉作業を委託している団体の実態がないことが分かり、さらに不正が行われていたために異常に多額の委託料が支払われていることが分かった。市は早急に、不正を行っている実態のない団体に委託することをやめ、歩行者等の通行を妨げない

ためにも橋の開閉をやめるべきだと考えるがどうか。

開閉操作の現状を調査する。また、今後の開閉操作については通行状況の変化を捉えて、開閉を見直す方針であり、公園整備に伴う交通量の変化が1つの材料になるため、その方針に基づいて港湾利用者と協議していきたい。

(質問時間56分)



御前浜橋

河本 圭司 BCP

障害のある方のNHK放送受信料免除について

障害のある方の「NHK」放送受信料の免除要件の確認について、「NHK」への情報提供はどのようにしているのか。厚生労働省を通じた協力

依頼に基づき、毎年NHKからの確認調査に回答している。ご本人には免除申請の際に、調査・回答することを確認している。

やぐらやまなみバス 事業について

市は事業者として、さくらやまなみバス事業の課題である運転士不足について、阪急バスに運転士の労働環境改善を働き掛けられないか。

運転士の労働条件に市が直接関与することは困難だが、労働環境改善に向けた取り組みの推進について、引き続きバス事業者申し入れていく。

(質問時間21分)



さくらやまなみバス

かみたに ゆみ 政新会

名塩道路整備の事業説明について

国道176号、名塩道路は1985年、事業に決定され完了されないままに至る。周辺住民への事業説明について、

市の取り組みは。

国には丁寧な地元説明を依頼しており、市では沿線の自治会長への事前説明や国の説明会に同席し事業説明等を実施。国発行の名塩道路ニュースの掲載内容の検討にも参加している。

名塩道路供用開始後の効果検証について

供用開始後の効果検証とその効果は。

名塩工区では旧国道の交通量が減少し、沿道の騒音が環境基準を下回ったほか、名塩小学校など通学児童の安全性も大きく向上した。また、山口町からJR西宮名塩駅に向かう路線バスも定時運行が可能になった。

国道176号の交通事情の予測と対策は

国道176号の交通特性は、通過交通が46%、内外交通が42%であり、利便性が高まれば増える広域的な交通が約9割を占める。将来の全線開通に伴う交通事情の予測と対策は。

令和12年の将来交通量は、元年5月の現況交通量1日あたり2万5754台に対し3万7100台。環境・交通安全対策が必要な場合、国や県に要望する。

その他の質問 コミュニティ交通について (質問時間56分)

田中 あきよ 市民ク改革

誰もが遊べる公園について

障害があっても無くても誰もが遊べるみんなの公園が必要と考えるが、市の考えは。

高齢者や障害のある方が利用しやすいトイレへの更新を順次進めている。ユニバーサルデザインによる遊具等の設置は、整備中の西宮浜総合公園や今後の公園改修の際に、先進事例や利用者の意見を参考に検討する。



ユニバーサルデザイン遊具(鳥取県米子市) 車いすの方も遊べる砂場

不登校や登校に不安がある子どもたちへの支援について

不登校支援対策には、当事者や保護者などの意見を取り

入れ、連携を目的とした会議体が必要と考えるが、市の考えは。

1月に庁内検討委員会を設置し、年度内には学校の代表、保護者、地域の方々を連絡・意見交換を図る会の設置を計画している。支援団体等との懇談は、ご要望があった場合は年1回程度実施できればと考えている。

ICT教育について

学習面だけでなく、コミュニケーションツールとしての位置付けが重要であると考えるが、市の考えは。

授業では児童・生徒の意見を把握しやすく、非常時は生活状況把握などコミュニケーションツールとして利点があると認識している。しかし、健康面や人間関係のトラブル発生リスクなど課題も多く、利用・指導方法を検討する必要がある。(質問時間58分)

やの 正史 政新会

学校プール設備のメンテナンスについて

新型コロナウイルス感染症の影響で、約2年間学校内のプールが使用されず放置される

ことになるが、設備のメンテナンスに問題はないのか。

今年度プールを使用する授業を見送ったことにより、大半の学校では来年度までプールに水を張った状態が続くが、設備の維持管理上、ただちに支障があるとは考えていない。例年行っている循環ろ過装置などの機械設備の外見点検など実施可能なメンテナンスを行うとともに、来年度のシーズン前にも十分点検を行い、プールの使用に支障がないよう適切に対応していく。



スポーツクラブ21 クラブハウスについて

スポーツクラブ21のクラブハウスにおける付属設備のメンテナンス・修理・更新は、誰の費用と責任で行われているのか。

建物の構造に直接関わる部分の補修や、エアコン・照明器具など建物と密接不可分な設備の修理・更新は教育委員会が行う。学校内施設のメンテナンス

スにかかる費用負担については、公平で正確な取り扱いを行う観点に立ち、市とスポーツクラブ当事者間での共通理解が必要となる。そのため、今後、関係部局間で協議を行い、考え方を整理していく。

大原 智 公明党

公民館の洋式トイレ改修について

公民館の洋式トイレ改修は、洋式化率以外にも着目すべきでは。

公民館では使用実態が異なり、利用頻度や劣化状況にも差異がある。今後は洋式化率に加え、館全体の洋式トイレの個数や劣化状況、館の利用人数等、総合的に勘案して選定する。

高齢者の移動支援について

地域の介護サービス事業者が、高齢者の移動支援に取り組めるよう支援すべきでは。

移動支援についてのニーズは大変高く、今後も高まるものと考えている。高齢者の社会参加の促進、介護予防や健康寿命の延伸につながるのと観点も踏ま



え、社会福祉法人連絡協議会と意見交換し、移動支援の取り組みを広げる方策を検討する。

ICTの活用について

特別な支援を要する児童・生徒や不登校児童生徒の対応にICTをどう活用するのか。

特別な支援が必要な子どもには、機器の種類・コンテンツを精査する必要がある。不登校児童生徒への対応では、学力保障や教師・クラスメートとのつながりという観点でも支援の幅を広げることができる。支援の目的は社会的自立であるため、その趣旨に適した活用の在り方や運用を検討していく。

(質問時間64分)



脇田のりかず 維新の会

学校司書の配置について

尼崎市や芦屋市等では学校司書が全校配置かつ週5日勤務となっているが、本市では全

校配置に至っておらず、週1日勤務に留まっている。文教住宅都市として速やかに改善すべきではないか。

今年度は勤務日を3日増やし8月も勤務月とすることで、学校図書館担当者との連携を図りやすくしている。今後も拡充が図られるよう検討していく。



スクールロイヤーの配置について

学校におけるいじめや不登校、事故等幅広い法的問題に対処するため、中立の立場でアドバイスをおこなうスクールロイヤーの導入が必要不可欠だと考えるが、本市の考えは。

法的アドバイスを頂くことで問題解決への道が開け、教員の負担軽減にもつながると考える。本市においても弁護士との活用について研究を進める。

緊急雇用対策としての市の採用枠について

新型コロナウイルス感染症により内定取り消し、解雇等

が相次いでおり、このような影響を受けた人達を救うために特別の採用枠を設けるべきでは。

他市では会計年度任用職員の募集などの対策が行われている。本市で今後採用する際は、緊急雇用対策の主旨を踏まえ、効果的な条件・方法を検討する。

(質問時間48分)

岩下 彰 市民ク改革

新型コロナウイルスによるバル等への影響について

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、バルなど商業活性化の取り組みが厳しい状況となったが、今後はどうか。

市では商業支援策の一つとして宅配・テイクアウト促進事業を実施し、現在18団体で取り組まれている。今後地域で再開される取り組みには、県ガイドライン等の遵守が条件となるが、積極的に支援していきたい。

山手幹線の工事の進捗状況について

山手幹線と中津浜線の交差点から東側の整備が進んできたが、昨年の12月定例会以降の状況はどうか。

用地買収は対象地22件中

21件が買収済みで、残る1件は今年度中に買収予定。今年度は道路の北側で水路の移設工事や歩道の電線共同溝工事を、南側で歩道の舗装工事を行い、令和6年度末の工事完了を目指す。



山手幹線道路

豚熱対策について

豚熱対策について、この半年あまりの状況はどうか。

国内養豚場では昨年11月末時点の50事例から、今年3月までに愛知県で1事例、沖縄県で7事例が発生した。また、京都府での野生猪の陽性事例を受け、兵庫県が新たにワクチン接種推奨地域に設定され、6月から県下の養豚場で豚熱ワクチンの一斉接種を実施している。

(質問時間21分)

全国市議会議長会 議員表彰

議員20年以上 野口 あけみ  
議員15年以上 澁谷 祐介



議会運営委員の選任

5月29日付で、花岡ゆたか議員が議会運営委員に選任されました。

所属変更

5月29日付で田中あきよ議員が「BCP無所属セッション」を脱会され、「市民クラブ改革」へ入会されました。

この結果、市民クラブ改革の議員数は6名になりました。

連絡先変更

坂上明議員の連絡先が変わりました。

津門稲荷町5番18-302号



# 委員会活動状況



## 総務 常任委員会

〔長〕篠原 正寛 副たかのしん  
 澁谷 祐介 中尾 孝夫  
 野口あけみ 福井 浄  
 やの 正史 山田ますと

昨年より施策研究テーマは「西宮市行政経営改革について」とし、約1年間精力的に議論を進めてまいりました。

目前に迫る超高齢社会のピークに備え、市政の体質改善を図りながら歳入と歳出のバランスを整え、今後も増えていく行政課題に対応し、なおかつ行政の肥大化を抑制していくという難しい着地点ですが、まずは基本方針に、続いて今年3月に発表された実行計画に対して様々に吟味し、当局との質疑を通して出した結論を提言としてまとめ、参考資料としての記録を含めると100ページ近いものとなり

ました。もちろん各党派、議員によって異なる考えも多いのですが、少なくとも「このままでいいのではないか」という意見は皆無であり、伸びが期待できない税金、増える一方の行政課題を抜本的改革で乗り切らねばならないとの意識は強く共有されたものと考えます。

### ■新型コロナウイルスの影響

3月からは特に議会も影響を受け、委員会もメールによる意見募集、当局とのやりとりを余儀なくされました。このコロナ禍は行政経営改革の目指すところを本質的に変えるものではありませんが、行政におけるリモートワークの難しさや見せかけの電子化で実態は人海戦術の山であった業務の効率化など、露呈した弱点を優先的に改革する必要はあると考えられます。

1年間お付き合いいただきました各位に心より御礼申し上げます、委員会報告と致します。



## 民生 常任委員会

〔長〕川村よしと 副まつお正秀  
 江良健太郎 大川原成彦  
 かみたけみ 河崎はじめ  
 松田 茂 八木米太郎

施策研究テーマとなっている「食肉センターの課題と展望について」「ごみの減量化について①総量の縮減について②処理のあり方について③収集について」の2つについて、約1年間研究や議論を積み重ねて、市当局に提言を行いました。

### ■食肉センターの課題と展望について

施設更新の時期を考えると、おおむね20年で存続・廃止等の方向性を決める必要があります。論点としては、毎年1億円を超える税金を一般会計から繰り入れ続けることの是非、更新となった場合の費用負担の在り方等、

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では1年間の総括を掲載しています。

〔長〕委員長

〔副〕副委員長



## 健康福祉 常任委員会

〔長〕うえだあつし 副宮本かずなり  
 一色 風子 大迫純司郎  
 大原 智 佐藤みち子  
 田中 正剛

### ■ごみの減量化について

課題をより明確にするために、3つの項目を設定しました。委員はそれぞれ、党派や党派等の議員としての背景が異なるため、その見解や提言を統一することは難しいですが、本テーマにおいては一つのまとまった意見を見いだすことができました。それは「ごみ袋の無指定は廃止し、有料指定、単独指定のいずれかの指定ごみ袋制度を導入すべき」という考えです。現行の制度を採用しているのは、中核市では西宮市だけであり、当局も改善の方向で話を進めています。

### ■介護予防施策における参加率の向上について

超高齢社会を迎え、これに伴う社会問題をいかにして解決していくのか？ひとつの解として「高齢になっても元気に生活してもらおうこと（＝健康寿命延伸）」が挙げられます。

既存の介護予防施策への参加率向上の方策を調査・研究し、

提言を行いました。

また、その過程で、本市の新しい介護予防施策として、今後の導入が期待される【健康ポイント制度(仮称)】についても、多くの市民に親しまれる制度となるよう、提言を行いました。

■地域包括ケアシステムを

支える担い手について

「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで」を目指す当該システムにおいて、自分らしい暮らしとは何か？を考えたとき、地域で共に生活してきた【地域住民】との関わりをこれまで以上に大切にしたいという考えに至りました。

そこで、【地域住民】に担い手となってもらおうと、本市に取り組んでいただきたい事項を「担い手を求める方の声を集める取り組み」「担い手を求める声を地域の担い手と結びつける取り組み」の2点に分けて、提言を行いました。

教育こども  
常任委員会

- 園山口 英治 副脇田のりかず
- 菅野 雅一 田中あきよ
- 花岡ゆたか ひぐち光冬
- 町田 博喜 吉井 竜二

本委員会では施策研究テーマとして「不登校対策について」「ICT教育について」をこの1年間、調査・研究・議論しました。

■不登校対策について

不登校児童生徒が増加傾向であることを踏まえ、管内視察として、あすなる学級なるおきた及びあすなる学級みらいを訪れ、不登校対策について調査を行いました。管外視察としては、大分県を訪れ、同県の不登校児童生徒支援プランについて、また、呉市を訪れ、同市の不登校対策(広島県校内適応指導教室)について調査を行いました。委員

間協議では、活発に意見交換を行いました。各委員より、児童・生徒の社会的自立を目指すために、フリースクールおよび関係団体との連携や、伴走型支援の構築、スクールロイヤーの配置、また、コロナ禍における長期休業後の対策等、市に提言を行いました。

■ICT教育について

ICT教育の早期実現に向け、管内視察として、西宮市立南甲子園小学校を訪れ、ICT教育について調査を行いました。管外視察としては、福岡市を訪れ、同市のICT教育について、また、佐賀県を訪れ、同県のICT活用教育について調査を行いました。各委員より、GIGAスクール構想の早期実現や、オンライン授業の実現、また、不登校対策としてのICT教育の活用、さらにコロナ禍における学校園の長期間休業の問題点も含め、市に提言を行いました。

建設  
常任委員会

- 園松山かつり 副よつや 薫
- 岩下 彰 河本 圭司
- 草加 智清 坂上 明
- 多田 裕 八代 毅利

本委員会では「交通弱者の移動手段の拡充について」を施策研究テーマとし、各委員の意見をまとめた提言を市当局に提出しました。

また近年バスの運転手不足等の課題について自治体と事業者が協力し、バスなどを自動運転で走行させるテストが行われており、これについても各委員の意見を市当局に提出しました。

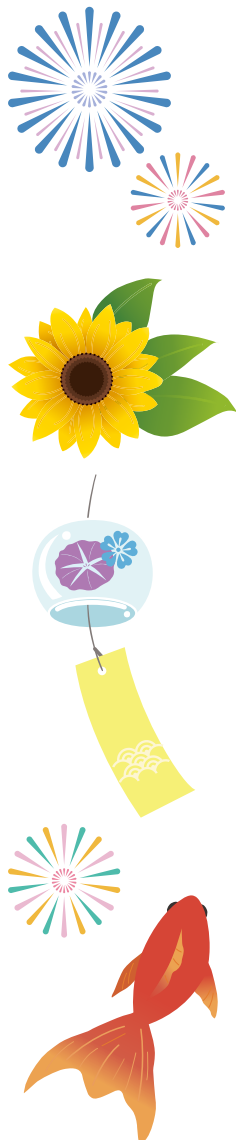
■管内視察(2/4)

阪神電鉄鳴尾駅の高架事業に伴い、全国初となる鉄道駅高架下の空間を利用した「武庫女ステーションキャンパス」が令和元年10月に開設され、駅名も鳴

尾駅から「鳴尾・武庫川女子大前駅」に変更されました。地域の方も利用できる「レクチャールーム」をはじめ学生のリクルート活動ができる「知るカフェ」など地域貢献に視点を置いた新たな空間利用を視察しました。

■管内視察(2/13)

枝川町の「合流貯留管整備工事現場」を視察しました。整備の目的は、10年に一度の確率で発生する降雨に対応する浸水対策や、おおむね国道2号以南の汚水と雨水を一つの管で流す合流区域において、豪雨で浄化センターの処理能力を超えた排水を直接海に放流せず、可能な限り合流貯留管に貯め浄化センターでくみ上げて処理を行うものです。また災害時に下水ポンプ場が停止しても一時的に貯留管に汚水を流し、浄化センターへ自然流下させます。これにより25mプール約120杯の雨水から浸水被害を軽減できます。



常任委員会に関する情報は  
こちらをご覧ください。





議案等審議結果一覧表(定例会)

(令和2年6月定例会)

全会一致で可決されたもの

Table with 2 columns: 市議会提出 (市長提出, 議員提出) and 審議内容 (予算, 条例, 案件一般, 報告, 人事, 規則, 決議). Content includes budget items, ordinance amendments, and resolutions.

表決態度が分かれたもの

(○賛成、×反対)

Large table showing voting results for various cases. Columns include party names (e.g., 政新会, 公明党) and individual council members. Rows list cases like '市立中央病院条例' and '意見書'.

\* 採決結果の○は、提出された議案などが賛成多数で可決されたことを、×は否決されたことを示しています。

議案等審議結果一覧表(臨時会)

全会一致で可決されたもの

(令和2年4月臨時会)

Table with 2 columns: 市議会提出 (市長提出) and 審議内容 (予算, 条例, 報告). Content includes budget items and ordinance amendments.

全会一致で可決されたもの

(令和2年5月臨時会)

Table with 2 columns: 市議会提出 (市長提出) and 審議内容 (予算, 条例, 報告). Content includes budget items and ordinance amendments.

# 委員会委員名簿

長=委員長 副=副委員長  
(令和2年7月9日現在)

## 総務常任委員会

市の政策や財政、税金、防災・消防に関することなど

- 長 大石 伸雄 副 たかのしん
- うえだあつし 中尾 孝夫
- 野口あけみ 福井 浄
- 松田 茂 山田ますと

## 民生常任委員会

市民協働、文化・スポーツ、ごみに関することなど

- 長 田中 正剛 副 宮本かずなり
- 岩下 彰 まつお正秀
- 松山かつのり 八木米太郎
- 吉井 竜二 脇田のりかず

## 健康福祉常任委員会

福祉、介護、医療に関することなど

- 長 篠原 正寛 副 佐藤みち子
- 大迫純司郎 かみたにゆみ
- 河崎はじめ 多田 裕
- 山口 英治 よつや 薫

## 教育子ども常任委員会

子育て、保育、学校園に関することなど

- 長 八代 毅利 副 一色 風子
- 江良健太郎 大川原成彦
- 菅野 雅一 坂上 明
- 田中あきよ ひぐち光冬

## 建設常任委員会

開発・建築、道路、公園、上下水道に関することなど

- 長 大原 智 副 やの 正史
- 川村よしと 河本 圭司
- 草加 智清 花岡ゆたか
- 町田 博喜

## 議会運営委員会

議会運営に関することなど

- 長 町田 博喜 副 福井 浄
- うえだあつし 大原 智
- 菅野 雅一 篠原 正寛
- たかのしん 田中 正剛
- 野口あけみ 花岡ゆたか
- 宮本かずなり よつや 薫

## 広報委員会

議会の広報に関することなど

- 長 吉井 竜二 副 大迫純司郎
- 一色 風子 江良健太郎
- ひぐち光冬 松田 茂
- 宮本かずなり

## その他の議会役職

- 監査委員 大川原成彦
- 阪神水道企業団議会議員 岩下 彰 うえだあつし

## 市議会を傍聴される皆様へ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のことにご協力をお願いします。

- ・傍聴の際は**マスクの着用、手指消毒等**にご協力ください。
- ・傍聴受付で体温測定をさせていただき**37.5℃以上の発熱や体調不良等の症状**がある場合は入場をご遠慮いただきます。
- ・傍聴席の間隔を確保するため、**席数を制限**しています。

▽開催予定時刻は10時です。  
日程は変更される場合があります。  
▽お問い合わせ先：議会事務局議事調査課  
(0798)35-3378

10月	9月	8月
2 (金) 予備日	15 (火) 本会議 採決など	28 (金) 本会議 提案説明など
1 (木) 決算特別委員会(全体会) 本会議 採決など	14 (月) 常任委員会	7 (月) 本会議 一般質問
29 (火) 決算特別委員会(分科会)	11 (金) 本会議 一般質問、質疑など	4 (金) 本会議 一般質問
28 (月) 本会議	10 (木) 本会議	3 (木) 本会議
25 (金) 本会議	8 (火) 本会議	
24 (木) 本会議		
23 (水) 本会議		



## 表紙の写真を募集!!

- テーマ** 西宮市内の魅力を紹介できる写真
- 締切** 令和2年9月30日(水)まで
- 提出物** ①プリント(2Lサイズ)またはメディア(JPG形式、CD-R・DVD-R)  
②タイトル、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、撮影場所、撮影日を明記したもの
- 応募方法** 上記①と②を下記提出先まで郵送又は持参
- 提出先** 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号「西宮市議会事務局」宛

- 選考** 広報委員会
- 注意事項**
  - 縦・横どちらでも可
  - 未発表・オリジナル作品限定。人物が特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。
  - 採用発表は誌面で行います。採用時には、タイトル、氏名、住所(町名)を掲載します。
  - 誌面の都合上、掲載できないこともあります。また、応募作品は返却しません。
  - 採用された方には粗品を進呈します。

